

タイトル 第3回「科学のまちの子どもたち」フォーラム

掲載日 2010年02月28日(日)

掲載紙誌名 朝日新聞

掲載面 日刊13版 南京都34面

科学文化としての普及探る 木津川・フォーラムに120人

科学を文化として普及することを目指すフォーラム「科学文化の花を咲かせるために」が27日、木津川市木津川

台9丁目の国際高等研究所であった。奈良女子大と関西文化学術研究都市推進機構(精華町)などが連携して進める



まほろば・けいはんな科学ネットワークについての説明に聴き入る参加者ら。木津川市木津川台9丁目

「まほろば・けいはんな科学ネットワーク」による科学普及活動の一環で、約120人が参加した。

基調講演では、総合研究大学院大学の池内丁教授が「市民と科学、市民の科学」をテーマに講演。様々に世界が広がり、物事にきちんとした理由があることを知る科学の楽しさについて紹介。「科学を楽しみながら接し続けるようにして、それが普通になることが一番大切」と訴えた。

ほかに奈良女子大にある同ネットワーク推進室から、子どもに科学について理解を深めてもらう「サイエンスカフェ」を学研都市周辺で今年度10回開催したことや、科学絵本の出版などの活動内容についての説明や、パネルディスカッションがあった。